

## 横浜市役所局と各区役所局間通信テスト

## 1. 通信テストの目的

災害発生時に横浜市役所のアマチュア無線局（以下市役所局）と各区役所のアマチュア無線局（以下各区役所局）間で確実な通信網が確保できることと、市役所・各区役所の無線設備の状態を点検し、無線設備が健全であることを確認することを目的としている。

## 2. 実施内容

（ア）日 時 : 2024 年 11 月 8 日（金） 10 : 00～12 : 00

（イ）周波数 : 145.14MHz／438.14MHz／1295.14MHz

（ウ）実施要領 :

- ① 市役所局より、430MHz 帯を連絡波として使用した。
- ② 430MHz 帯・144MHz 帯・1200MHz 帯の順で区役所局を順次呼び出した。
- ③ 交信は RS リポート交換をするほか、オペレータのコールサインを通知した。
- ④ 各区役所局は市役所局との交信のほか、他の区役所局が市役所局と交信時に受信した信号の RS 状況を記録する。

## 3. 参加局及び通信状況

（ア）参加局 : 市役所局 区役所局 18 局

（イ）通信状況 : 430MHz 帯・144MHz 帯は、参加局すべて交信ができた。

1200MHz 帯は、交信できない局が一部あった。

- ・ 430MHz・144MHz は各区と交信可能であった。144MHz が比較的良かった。
- ・ 1200MHz は交信できなかった支部が多かった。また、1200MHz は聞こえない局が多いので、連絡波の 430MHz を使用して、順次経過をアナウンスした。

\* 運用周波数帯を適宜選択すれば情報伝達手段として有効であることを確認できた。

## 4. 無線設備の状況

各区のレポートから 5 区を除く、13 区の役所局は問題はなかった。

（ア）西区、中区、青葉区は同軸ケーブルの不具合が想定され、信号の低下がみられた。

（イ）南区 ID-1 のハンドマイクのカールコードに経年劣化と見られる裂け目が有り、内部の配線が露出していた。

（ウ）保土ヶ谷区のアンテナは危機管理室から予算申請された。

## 5. 市役所との意見交換

市役所に通信テストの結果報告をし、意見交換を行なった。

（ア）故障の発生した南区のスタンドマイクは危機管理室から予算申請された。

（イ）SWR 計は危機管理室から予算申請された。

（ウ）通信に支障がある区役所の同軸ケーブルはケーブル劣化調査費として危機管理室から予算申請された。

（エ）次回、市との会議の席上で南区 ID-1 ハンドマイクの不具合について市にお伝えする。

以上